PC工事の緊張作業に必須

緊 張 防 護 板

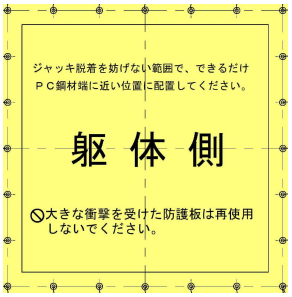
ST-PRO
ST-PRO-BB

特徴

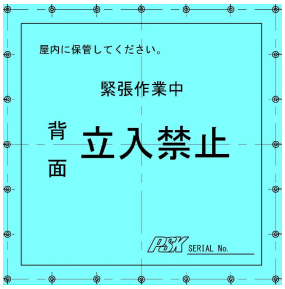
・裸線用の「標準型」とエポキシ被覆鋼材用の「強化型」を準備
・可搬性に優れる （標準型 約16kg、強化型 約20kg）
・設置しやすい外周枠つき
・コア材には3層のアラミド繊維 (エポキシ樹脂含浸)
・フレームとスリングとパネルの複合構造でエネルギーを吸収

強化型
標準型に加え、背面側にSUS304鋼板(t=1.2mm)を追加

形状



表面



裏面(強化型)

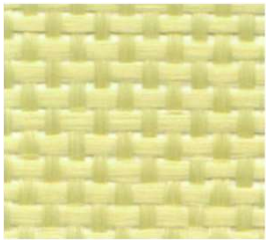
製品 (厚さ 約7cm)

外周枠は、ϕ31.8mmの鋼管を使用
表皮には、防炎シート(ボンガード35)を使用
ハトメ部分は、アラミド繊維を挟み込んで固定
鋼管への取り付けはϕ4mmのナイロンスリングで28箇所固定

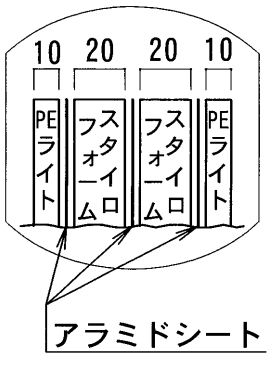
表皮への特別な印刷の注文も承ります。

コア構造

アラミド繊維は2方向タイプ(AK50/50) 目付量 870g/m^2
含侵材はエポサームレジン(XL-800A)を用いています。
20mm厚のスタイロフォームとのサンドウィッチ構造で
コア部分を構成しています。
コア部分の両側に形状保持として10mm厚さのPEライト
を配しています。


2方向性タイプ

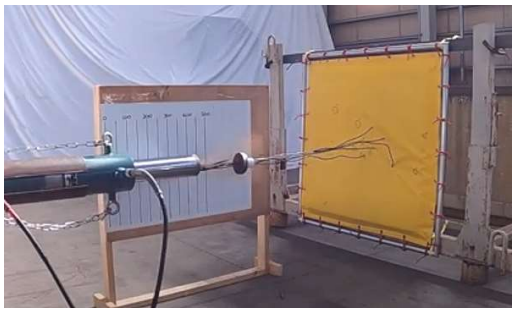
サンドウィッチ構造

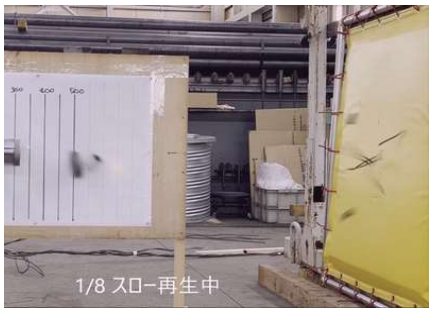


(全体製品厚さ 約7cm)

性能確認

以下の条件下で確認試験を行っています。
(試験方法　油圧ジャッキを用いての緊張・破断での突出試験)
標準型　PC鋼材　SWPR7BL 15.2mm　　裸線
強化型　PC鋼材　SWPR7BL 15.2mm　　エポキシ樹脂被覆





エポキシ被覆鋼材による試験

試験の状況はこちら
https://youtu.be/9-7u5oaZUyU
https://youtu.be/pPnIEKclQks
https://youtu.be/yTgTt3Mp7Zg
(被覆鋼材)→ https://youtu.be/yA5EfIO-zRY

重要事項

性能確認は、限られた条件下での突出試験結果であり、全ての突出事故に対して保証するものではありません。
エポキシ被覆鋼材の試験では、強化型を2枚重ねで使用しています。エポキシ被覆鋼材に関してはこの方法を参考にしてください。
突出事故がないように緊張作業は十分注意してください。

製品仕様

Type	コア構造	外形寸法	コア寸法	概算重量
標準型 (ST-PRO)	アラミド繊維3層	115cm × 115cm	85cm × 85cm	約 13kg
強化型 (ST-PRO-BB) (Blue Back)	アラミド繊維3層 + SUS鋼板 1.2mm厚	115cm × 115cm	85cm × 85cm	約 20kg

使用上の注意

・防護板は緊張ジャッキの脱着作業を妨げない範囲で、できるだけPC鋼材端に近い位置に配置してください。
・大きな衝撃を受けた防護板は再使用しないでください。
・屋内にて保管してください。
・単管クランプで防護板を固定する場合は、外周枠とクランプとの間に桟木等を挟んでパイプ径の差を補う方法があります。

PC工事の総合資機材提供会社
株式会社ピーエスケー
www.ps-k.co.jp
東京都中央区日本橋小舟町12番6号 (CIRCLES日本橋小舟町7階)
TEL: 03-5643-5651

2025.May